

(HP公開様式)

政務活動費の調査研究に係る海外調査、宿泊を伴う県外調査の概要

1 題目：自由民主党政務調査

2 調査報告概要

| | |
|-------------|--|
| 調査者 会派名等 | [会派名、調査者全員の氏名] 会派名 自由民主党 調査者 白壁 賢一、杉山 肇、大久保 俊雄 |
| 調査内容 | 1 調査目的 本県における行政課題である中学校夜間学級（いわゆる夜間中学）、コロナ後の観光振興、にぎわい創出、ワイン産地について、それぞれ先進的な取り組みを行っている地方自治体や団体などが実施する各事業について、視察、調査、意見交換を行い、本県の施策に活かしていく。 2 調査テーマ Ⅰ 夜間中学 Ⅱ コロナ後の観光振興 Ⅲ にぎわい創出 Ⅳ ワイン産地 3 調査期間 令和5年7月18日～令和5年7月20日（2泊3日） 4 調査地 [海外→国名・都市名]・[国内→都道府県名・市町村名] 北海道札幌市、北広島市、千歳市、ニセコ町 5 その他 |

3 調査テーマ毎の調査項目と選定理由

| | |
|------------------------------|--|
| <p>[調査テーマ] 夜間中学</p> | <p>[調査項目] ・夜間中学校の設置状況について</p> <p>[選定理由] 平成28年に「教育機会確保法」が成立し、政府は不登校やいじめへの対応など、児童生徒支援の充実を図っている。本県においても、不登校支援の取り組みは喫緊の課題となっているため選定した。</p> |
| <p>[調査テーマ] コロナ後の観光振興</p> | <p>[調査項目] ・インバウンド、アフターコロナ、人手不足対策について</p> <p>[選定理由] コロナ禍による本県観光産業への影響は大きく、インバウンドの取り込みや、観光産業から離れてしまった人材の確保などに課題を抱えていることから選定した。</p> |
| <p>[調査テーマ] にぎわい創出</p> | <p>[調査項目] ・球技場の施設整備及びにぎわい創出について</p> <p>[選定理由] スポーツ施設の整備を中心としたにぎわいの創出に取り組んでいる地方自治体があるなか、本県においても、スタジアム建設を契機ににぎわい創出を検討する際の課題を調査する必要があることから選定した。</p> |
| <p>[調査テーマ] ワイン産地</p> | <p>[調査項目] ・北海道におけるワイン生産の現状について</p> <p>[選定理由] 北海道におけるワイン生産量は山梨、長野に続き第3位であり、この10年でワイナリー数は約3倍に増えている。ワイン産業の振興は本県において大きな課題であるため選定した。</p> |

4 調査項目に係る調査都市・施設・担当者等の選定

| 調査項目 | 都市（市町村）名・施設名・担当者名及び選定理由 |
|-----------------------------------|--|
| <p>・夜間中学校の設置状況について</p> | <p>[都市（市町村）名・施設名・担当者名] 北海道札幌市 札幌市立中学校 星友館中学校 教頭</p> <p>[選定理由] 国は少なくとも各都道府県・指定都市に一校は設置されるよう目指している。不登校児童生徒等が自己肯定感を持って自身の成長を追求していけるような「居場所」を確保して学習支援・社会性の育成の充実を図り、また、それぞれの児童生徒の実態に配慮した教育を行っている先進事例を調査するため選定した。</p> |
| <p>・インバウンド、アフターコロナ、人手不足対策について</p> | <p>[都市（市町村）名・施設名・担当者名] 北海道虻田郡ニセコ町 株式会社ニセコリゾート観光協会 事務局長</p> <p>[選定理由] (株)ニセコリゾート観光協会は、ニセコ町とニセコ町民が50%ずつ出資して設立した、全国ではじめて株式会社化した観光協会で、企業体として、ニセコの持つ様々な資源を連携して、まちづくりをサポートしながら事業展開を行っているため選定した。</p> |
| <p>・球技場の施設整備及びにぎわい創出について</p> | <p>[都市（市町村）名・施設名・担当者名] 北海道北広島市 エスコンフィールド HOKKAIDO 対応者なし（視察のみ）</p> <p>[選定理由] 近年、スポーツ、特にプロスポーツとタイアップして地域のにぎわいの創出に取り組み、また、観光の目玉として取り組んでいる事例が見受けられる。行政に加え複数の民間関係者の協働による取り組みを調査するため選定した。</p> |

| | |
|-----------------------------|---|
| <p>・北海道におけるワイン生産の現状について</p> | <p>[都市（市町村）名・施設名・担当者名] 北海道千歳市 北海道中央葡萄酒（株）千歳ワイナリー代表</p> <p>[選定理由] 1988年から山梨県の中央葡萄酒（株）の第2ワイナリーとして北海道千歳市で製造開始した。2011年に分社・独立し、引き続きワイン造りと北海道という産地形成に取り組んでいる。山梨と北海道の産地の違いを踏まえて調査するため選定した。</p> |
|-----------------------------|---|

5 調査内容

○調査テーマ：（夜間中学）

| | | | |
|--------|--|-----|-------|
| 調査項目 | ・夜間中学校の設置状況について | | |
| 調査都市等 | 北海道札幌市 | 調査日 | 7月18日 |
| 調査結果概要 | <p>平成28年の教育機会確保法の成立を受けて、札幌市は令和4年度に道内で初めて公立夜間中学を設置した。連携の覚書を交わした近隣市町村住民については、当該市町村にランニングコスト及び就学支援制度に係る費用（一人当たり15万円程度）を負担してもらい、受け入れている。</p> <p>夜間中学では特別の教育課程を編成することが認められており、学年所属に関係なく、習熟度に応じた内容を選択できるようなコースを設定するなど、学びたい人の立場で工夫されている。</p> <p>教職員・スタッフの体制については、教員配置の優位性等の理由から、単独校として設置し、全国初の専属の校長を配置している。また、年5回の個別相談やスクールカウンセラーのカウンセリングなど、教育相談体制も充実している。教員・スクールカウンセラー・学習サポーター（一部ボランティア）が一体となり、成果を上げていた。</p> <p>関係機関との連携については、入学希望者への情報提供や就職支援、外国籍の方への支援などにおいて連携を図っている。また、午前、午後、夜間の三部制を取り入れ、多様な学習ニーズに対応する市立高校とは、卒業後の支援なの在り方を含めた連携を予定している。</p> <p>施設は教育関係の複合施設で、バリアフリーとなっていて、市街地の中心に位置し、高齢者などが通学しやすいものとなっている。</p> <p>令和5年7月時点では108名の生徒がいるが、夜間中学の現役学生募集に苦勞しているようである。設置者や規模感、設置場所、運営体制な</p> | | |

| | |
|--|------------------------|
| | ど、本県での設置を考えた場合の参考としたい。 |
|--|------------------------|

○調査テーマ：(コロナ後の観光振興)

| | | | |
|--------|--|-----|-------|
| 調査項目 | インバウンド、アフターコロナ、人手不足対策について | | |
| 調査都市等 | 北海道虻田郡ニセコ町 | 調査日 | 7月19日 |
| 調査結果概要 | <p>コロナ後のニセコでは、「共感づくり」をベースにニセコらしい観光スタイルを創り・広め、世界から愛され、住民から愛される国際的リゾートに向け取り組んでいる成果として、外国人観光客が回復し賑わいを見せていると思われた。</p> <p>一方で、ニセコでは観光業を中心に人手不足が続いており、ほとんどの産業で深刻化している。宿泊施設では現有の従業員でカバーできる稼働率に押さえるところが現れ、また、賃金高騰や人材の取り合いが起きていたそうである。</p> <p>潜在労働力の喚起や、限られた人材を有効に活動させる仕組みをITベンチャーと連携して取り組んでいるところは、株式会社組織という自由度の高さによるものと感じた。</p> <p>さらに、ニセコの魅力と価値の向上を通じて、人材育成と他地域からの人材流入を図る取り組みは見習うことが多いと感じた。</p> <p>今回の調査結果を本県での観光振興と人材確保の参考とするとともに、山梨ブランド向上に向けた政策提言につなげていく。</p> | | |

○調査テーマ：(にぎわい創出)

| | | | |
|--------|--|-----|-------|
| 調査項目 | 球技場の施設整及びにぎわい創出について | | |
| 調査都市等 | 北海道北広島市 | 調査日 | 7月20日 |
| 調査結果概要 | <p>北広島市はボールパーク構想として、官民連携により北海道日本ハムファイターズの本拠地となる新球場を核としたボールパークを整備することで、アイデンティティを高め、居住者を呼び込み、企業立地を促進しながら持続可能な街づくりを目指している。スタジアムを核とした賑わいや交流を作り出し、周辺地域にも効果を波及させる狙いである。</p> <p>民間事業者によりスタジアムを整備し、維持、運営等しているが、その財源の一部にネーミングライツを活用している。スタジアムの命名権だけでなく、入りロゲートには企業名が付けられており、その活用、効</p> | | |

| | |
|--|--|
| | <p>果を実際に確認することができた。</p> <p>また、スタジアムには試合のない日も無料で入場可能なエリアがあり、多くの人を訪れて楽しめる空間となっており、平日にもかかわらず多数の見学者がいた。</p> <p>スタジアム周辺は、多くの人が多様な楽しみ方ができるよう、食事、ショッピング、ホテル、アクティビティなどの施設があり、にぎわいを創出している。</p> <p>今回、オール北海道ボールパーク連携協議会における取り組みなどについては説明を受けることができなかったが、現地をみることでビレッジとして一体整備された空間を体感することができた。スタジアムを含めたエリアとしての整備やネーミングライツの手法の活用、官民が連携した取り組みなどにより、文化振興、地域の活性化を図るなど、本県で球技場・スポーツ施設の整備を検討する上での参考として活用したい。</p> |
|--|--|

○調査テーマ：(ワイン産地)

| | | | |
|--------|--|-----|-------|
| 調査項目 | 北海道におけるワイン生産の現状について | | |
| 調査都市等 | 北海道千歳市 | 調査日 | 7月20日 |
| 調査結果概要 | <p>冷涼な気候のため、白ワインが多く造られてきたが、近年は温暖化の影響もあり、赤ワインも増えている。</p> <p>北海道のワイナリーは平成12年以降増加し始め、ここ10年で3倍に増えたが、年間100万本の大手から、数千本小規模ワイナリーまで生産規模は様々となっている。ワイン特区制度や自治体のサポートもあるが、まとまった土地が手に入りやすいことが大きいと感じた。</p> <p>また、北海道ではブドウ畑を所有し、栽培から瓶詰めに至るまでワインの製造を行う「ドメーヌ」と呼ばれる生産者が多いとのことで、ブドウ栽培に根ざしたワイン造りが行われている。千歳ワイナリーは自社農場ではないものの、契約農園と二人三脚で高品質なブドウの栽培によるワイン造りに取り組んでいた。</p> <p>ワイン産地形成には高品質なブドウの確保が欠かせないと感じた。</p> <p>今回の調査結果を本県でのワイン産業の振興に向けた政策提言につなげていく。</p> | | |

○各参加者の所感及び調査結果の活用方針

| 議員氏名 | 所感及び活用の考え方 |
|-------|--|
| 白壁 賢一 | <p>・夜間中学</p> <p>熱く語られた教頭先生の説明に子供たちの教育を受ける権利を改めて実感した。夜間中学校設置を本県に置き換えた場合、人口密度で問題がある。直近の国勢調査によると、札幌は北海道人口の約 38%が集中し約 200 万人が暮らす人口過密地域。フリースクールの発想として本県若しくは県内市町村に設置する場合、需要として問題が残る。札幌市でも、夜間中学の現役学生募集に苦勞しているようであり、苦肉の策ではないが、学びなおしの高齢者や訳あって中学校に行けなかった方々も受け入れている。しかし、たった一人の需要であっても教育を受ける権利を剥奪することは許されない。</p> <p>さて、本県での夜間中学校の設置を考えた場合、甲府市に設置することが望ましい。理由としては鉄道、バス路線が整備されていること、ドーナツ化現象で空き教室が目立つ中学校が点在していること等々。</p> <p>しかし、甲府市は中核市に移行以来、全ての行政サービスを市が担うことで財政的にも人員的にも不如意な状況に至っている。国の補助を受けるとしても県の関与協力が必要である。</p> <p>常々思うことだが国は思いついたように制度を変更追加して、最終的に地方に押し付ける。もう少し諸外国、特にドイツ連邦共和国のミュンヘンの教育を勉強してもらいたい。</p> <p>・コロナ後の観光振興</p> <p>ニセコを見学して率直に思ったことは、過剰、異常な開発が行われていて「第二の越後湯沢」になることを懸念することである。</p> <p>メインストリートには、オーストラリアの不動産会社のオフィスやチャイナ関連のオフィスがあり、外国資本によって開発されていることが一目瞭然である。外国資本を否定するものではないが、安定的な発展には為替や有事に影響を受ける外国資本より国内資本が開発し、そこにインバウンド観光客を呼び寄せる方が賢明である。</p> <p>一つ勉強になったことは、公的団体とばかり思っていたニセコ観光協会が株式会社であったこと、またその株主に大手旅行会社が入っていて、社員が出向し観光計画を発想・立案・実施している。これが第三セクターなら全国にも数あるが、こうした組織形態は稀であろうと思う。</p> <p>説明したスタッフも、公的団体でないことで地域に認めていただけず苦勞してきたことを吐露していたが、民間の発想でニセコを創り込</p> |

| | |
|------|---|
| | <p>めば国内有数の観光地になる日も近いかもしれない。</p> <p>いずれにしても、拙速で過度な開発は地価高騰や自然景観の破壊を招き決して良いものではない。今を生きる我々の責任として、後世に禍根を残すような開発は行ってはならない。山梨県、特に富士北麓においても同じであり、過度な開発は厳に慎むべきである。</p> <p>・にぎわい創出</p> <p>何もない原野にポツンと立つスタジアムに、北海道ならではの景観を見た。ここに至った経緯は、そこに移設したスタジアムの驚きをも凌駕する。</p> <p>地方公共団体が民間投資を促し、札幌市内に建設したスタジアムが何かの手違いで移築、現在に至るわけだが、法治国家の日本国において、公設民営手法のスタジアムが償却期間の来る前に契約解除になったことは驚きの何物でもない。</p> <p>札幌市も相当な痛手であることは想像できるが、なぜこのような事態になったかを調査研究すべきである。本県でも富士山登山鉄道が話題になっているが、民間資金や投資ファンドを原資に LRT を設置した場合、同じような状況が懸念される。富士山は、史実に基づくと約 300 年に一度程度噴火を繰り返している。設置されて間もなく自然災害に襲われた場合、どのようになるのか考えるだけでも空恐ろしい。</p> <p>・ワイン産地</p> <p>山梨県のワインは、甲州種にこだわりすぎてクオリティの高い白ワインが生産できないのが現状である。</p> <p>北海道には数多くのヨーロッパ種の醸造用ブドウがあり、耐寒性の問題はあるが、山梨のワインを超える高品質なワインが生産できるので、中央葡萄酒は北海道に拠点を構えたものと思慮する。</p> <p>ワイン用ブドウの大敵は雨であり、また乾燥した寒風であるが、そこをクリアし、そこそこのワインを生産している。これから世界市場を狙うためには超えなければならないハードルが数多くある。若社長の頑張りに期待したい。</p> |
| 杉山 肇 | <p>・夜間中学</p> <p>学びたい人が誰でも自由に学ぶことが出来るということは素晴らしいことだと思う。そのため 4 月から 9 月までや 2 年生、3 年生からの入学を認め、学ぶレベルも無理なくそれぞれに応じた内容にでき、6 年間の在籍も可能とするなど、学びたい人の立場で工夫されている。</p> <p>昼間の小中学校での不登校が劇的に増え社会問題になっているが、</p> |

| | |
|--------|---|
| | <p>不登校だった子供たちが夜間中学で学んでいるということに、不登校対策のヒントがあるように思う。学校の環境、様々なしがらみなどが少なく楽になっているのではないかというお話があった。</p> <p>また、施設も教育関係の複合施設で、バリアフリーとなっていて、市街地の中心に位置しており、高齢者などが通学しやすいということも重要な点だと感じた。</p> <p>・コロナ後の観光振興</p> <p>人口5,000人の町に年間20万人が訪れていて、オーバーツーリズムの問題がある。ドライバーや飲食店などの人手不足や大型開発などによる景観などの様々な課題に直面している。人手不足については、ニセコの魅力を高めニセコで働きたいと思ってもらうことが大切だと感じた。町としてもSDGsに取り組み、「持続可能な観光地」を目指しており、環境と景観を守ることが安定した観光、投資、若者の起業、さらに移住定住へとつながっている。</p> <p>・にぎわい創出</p> <p>何もなかったところに新球場を創り、ボールパークタウンとして新しい町を創るという構想のもと官民連携で様々な取り組みをしている。</p> <p>球場自体のネーミングライツはもとより、ゲートにもネーミングライツを取り入れ、また、球場外でも老若男女が楽しめるよう工夫されている。山梨でも新しい球技場の問題があるが、スポーツ産業、新しい町の誕生による産業、雇用、起業につながるなど大きな可能性を感じた。</p> <p>・ワイン産地</p> <p>北海道に拠点を構え、30年以上になる。様々な品種を試行錯誤しながらよりよいワインを目指して取り組んでいる。山梨のワインが世界で認められつつあるが、様々な気候条件で日本のワインも他種多様性があり、全国のワイン造りの技術を高めることが、日本全体のワインの品質を高め、山梨のワインの評価をさらに高めるものだと思う。</p> |
| 大久保 俊雄 | <p>・夜間中学</p> <p>義務教育の年齢（15歳）を超えている方で、国籍にかかわらず、様々な理由により中学校を卒業できなかった方や、不登校などのために十分に学べなかった方などが、中学校などの学習内容を習得するために、道内で初めて設置された札幌市の公立夜間中学校である。</p> <p>2016年「教育機会確保法」が成立し、設置の措置など自治体の</p> |

| | |
|--|--|
| | <p>責務として規定され、近年、不登校、中途退学が増加する中で、当該中学校の学習目標である</p> <p>“「学ぶ^は=生きる」～より自分らしくあるための学校～”</p> <p>の実現のための教員・スクールカウンセラー・学習サポーター（一部ボランティア）が一体となって成果を上げていた。</p> <p>本県においても、一人でも取り残すことのない教育のために施策提言をする一助となった。</p> <p>・コロナ後の観光振興</p> <p>実効性のある観光振興ビジョンを2022年3月に策定し、「成熟した通年型の国際リゾート」、「高品質・高付加価値の国際リゾート」、「町民が誇れる国際リゾート」を実現するための具体的な取り組みについて説明を受けた。</p> <p>地域内交通の充実、観光協会組織強化、観光人材育成、観光DX化推進、DMOの取り組みについて意見交換をすることで、本県の共通する課題に対し、観光立県としての今後の施策実現に向けて重要な機会となった。</p> <p>・にぎわい創出</p> <p>北海道日本ハムファイターズの新しい球場であり、市街地ではなく北広島市に建設され、近くには学校や住宅等、通常の観光地ではないが、平日でも球場を開放し、館内を自由に見学可能であった。多くの見学者が訪れており、スポーツ・球技場を通じた、地域住民、行政との連携の重要性が認識された。</p> <p>また、球技場入り口のゲートに企業名が各々表示されており、ネーミングライツを活用した施設管理コスト低減方策も今後の公共施設維持管理費の低減策を講じる上で一助となった。</p> <p>・ワイン産地</p> <p>甲州市の中央葡萄酒の第2支店グレイスワイナリーとして1988年創業。</p> <p>北の産地に特化したワインの品質を高める努力を重ねている。ブドウを育てるために最適な条件が揃う地域として、温暖化が進む中で北海道産ワインの生産技術も品質・味わいも年々向上させている。</p> <p>余市町においてワインツーリズムを実施しており、本県のワインと観光を連携された地域活性化策を更に前進させる上での大きな材料になった。</p> |
|--|--|

6 調査状況（写真）

- 令和5年7月18日 調査先（星友館中学校）
夜間中学校の設置状況について



（左から）大久保議員、白壁議員、（説明者）、杉山議員

- 令和5年7月19日 調査先 (株)ニセコリゾート観光協会)
インバウンド、アフターコロナ、人手不足対策について



(左から) 大久保議員、(説明者)、杉山議員、白壁議員

○ 令和5年7月20日 調査先（エスコンフィールド HOKKAIDO）
球技場の施設整備及びにぎわい創出について



（左から）杉山議員、白壁議員、大久保議員

○ 令和5年7月20日 調査先（北海道中央葡萄酒・千歳ワイナリー）
北海道におけるワイン生産の現状について



（左から）白壁議員、大久保議員、（説明者）



(左から) 大久保議員、(説明者)、白壁議員、杉山議員